

令和2年度主催事業「家族でデイキャンプ in 英彦山」

- 期日：【第1回】令和2年10月10日（土） 【第2回】令和2年10月18日（日）
- 開催場所：英彦山青年の家、篠崎川魚店 釣り堀
- 参加者：9家族30名（第1回…4家族12名、第2回…5家族18名）
- ねらい

家族で野外調理や英彦山探検等の自然体験活動に取り組む機会を通して、家族間のコミュニケーションの増加を図る。また、継続的に自然体験活動に取り組む家族の増加を図る。

～第1回キャンプ～

活動1 家族 DE 英彦山自然探検

英彦山自然探検では、家族で話し合いながらコースを選択し、青年の家周辺の散策をしました。伝説の岩、親孝行の人しか通れないという「針の耳」にチャレンジしたり、ススキの前で記念撮影をしたり秋の木の実を集めたりと、家族ごとに英彦山の自然や歴史を体感しながら、楽しい時間を過ごしました。



活動2 防災食&ホットサンド作り



野外調理では、防災ミネストローネ作りとホットサンド作りを行いました。ミネストローネは日常生活で保存食でもある缶詰と、トマトジュースを使って、簡単に短時間で調理できることに驚きを感じていました。ホットサンド作りでは、いろいろな具材を家族で選び、役割を決めて取り組むことで家族の絆を深めることができました。完成した後は、どの家族も笑顔があふれ、達成感を得ていました。

活動3 ハンモック体験&巨大シャボン玉作り

午後の活動では、ハンモック体験や巨大シャボン玉作りにチャレンジしました。メタセコイアの木々の間に設置したハンモックは秋の英彦山の心地よい風を感じることができ大人も子どもも、とても気持ち良さそうでした。食後ということもありそのままウトウトされている方も見られました。巨大シャボン玉作りは初めて、という方も多く、普段家では作れないような大きさのシャボン玉に感動していました！



～第2回キャンプ～

活動1 ヤマメ釣り体験

地域との連携を図り、篠崎川魚店の釣り堀にて、ヤマメ釣り体験を行いました。参加された家族の中には、初めてヤマメ釣りをする方や、生きた魚を触るのは初めてという子どももいましたが、「ぬるぬるしていてつかむのが難しかったけれど、楽しかった」「釣りに興味をもった」などという声が聞かれました。どの家族も時間が経つにつれて釣り方が上達し、昼食に向け、親子で協力しながらヤマメを釣り上げることができました！



活動2 火おこし体験&野外調理

昼食では、「身近にある道具を使った野外調理」をテーマに、家族ごとにアルミ皿を使った卓上炭焼き調理を行いました。まず、ファイヤースターターを使った火起こし体験を行い、その火をもとに炭へと着火させていきました。火種が付きやすいように、ティッシュを準備し、家族で力を合わせて火をおこしました。難しい作業なので、家族で話し合いながら何度も挑戦して、炭火をおこすことができました。炭で焼いたヤマメやおにぎりの味は格別だったようです！デザートでは焼きマシュマロにも挑戦し、山ならではの体験活動を通して、心と体が癒される時間を過ごすことができました。



○全体を通して

本事業は、コロナ渦において「新しい生活様式」に基づきながら、家族向けの日帰り企画として2回開催しました。英彦山の豊かな自然や、英彦山周辺地域の魅力に触れながら、どのプログラムにおいても、家族で話し合い協力して取り組む姿が見られました。また、大人が積極的に活動に関わることで、子ども達も笑顔で楽しんでいたことが印象的でした。体験活動の楽しさを家族で共感することの大切さを改めて感じる事ができた2日でした。

終了後のアンケートでは、今後家族で取り組んでみたい活動についてもたくさん書かれていました。参加者の方々のご意見を参考にしながら、今後も英彦山を満喫できる内容を提案していきたいと思っております。今回の事業への参加が、これからも家族で継続的に自然体験活動に取り組むきっかけになればと思います。是非また、英彦山で会いましょう！